



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所  
コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 牛山 雄造

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 粕谷 実也

TEL 0587-95-5211

四半期報告書提出予定日 平成24年10月31日 配当支払開始予定日

平成24年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	180,968	33.3	11,412	725.3	11,698	512.5	△4,428	—
24年3月期第2四半期	135,802	△18.8	1,382	△88.4	1,909	△83.9	1,209	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △7,941百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △2,202百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△49.03	—
24年3月期第2四半期	13.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	273,436	157,248	55.9
24年3月期	273,217	165,198	59.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 152,942百万円 24年3月期 161,082百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
25年3月期	—	14.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	16.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	355,000	11.1	19,000	44.4	19,500	30.2	1,000	△87.7	11.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	94,234,171 株	24年3月期	94,234,171 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,920,947 株	24年3月期	3,920,307 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	90,313,577 株	24年3月期2Q	90,316,182 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.平成24年7月30日に公表した連結業績予想は、当第2四半期連結会計期間において、通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想値と決算値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(6) セグメント情報等	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、日本におきましては震災からの復興需要を受けて回復基調が続きました。一方、欧州では債務問題の影響を受け、景気の低迷が続きました。また、これまで世界経済の成長を牽引してきた新興国も、輸出や内需の伸びが鈍化しました。これにより、世界経済全体は、回復基調ではあるものの成長率はやや弱くなる結果となりました。

自動車業界におきましては、景気に減速感が見られる中国、ブラジル、インドでの販売台数の伸びが鈍化したものの、エコカー補助金により需要が増加した日本、買い替え需要が根強い米国や洪水からの復興が進むタイなどでの販売台数増加などにより、全体としては堅調に推移しました。

このような環境下におきまして、当社グループではタイの洪水からの復興や日本でのエコカー補助金による需要回復へ確実に対応するとともに、品質基盤の更なる強化、ニーズにあった新製品の開発、原価低減や生産性向上に一丸となって取り組みました。また、成長著しいインドネシア市場の需要を取り込むため、インドネシアにシートベルト事業の新会社を設立することを決定しました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は180,968百万円と、前年同四半期に比べ45,166百万円(33.3%)の増収となり、利益につきましては、連結営業利益は11,412百万円と、前年同四半期に比べ10,030百万円(725.3%)、連結経常利益は11,698百万円と、前年同四半期に比べ9,789百万円(512.5%)のそれぞれ増益となりました。しかしながら、連結四半期純損益は、平成24年10月22日に「特別損失の発生に関するお知らせ」で公表したとおり、客先の市場回収処置に伴い、製品保証引当金繰入額15,829百万円を特別損失として計上したため4,428百万円の損失(前年同四半期は連結四半期純利益1,209百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (日本)

客先生産台数の増加などにより、売上高は129,191百万円と、前年同四半期に比べ31,151百万円(31.8%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加や合理化等に積極的に取り組んだことにより、8,312百万円(前年同四半期は営業損失349百万円)となりました。

#### (北米)

客先生産台数の増加などにより、売上高は31,875百万円と、前年同四半期に比べ11,313百万円(55.0%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加などにより668百万円(前年同四半期は営業損失1,008百万円)となりました。

#### (アジア)

客先生産台数の増加などにより、売上高は34,441百万円と、前年同四半期に比べ8,852百万円(34.6%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加などにより2,911百万円と、前年同四半期に比べ213百万円(7.9%)の増益となりました。

#### (その他)

売上高は7,521百万円と、前年同四半期に比べ234百万円(3.0%)の減収となりました。営業損失は、91百万円(前年同四半期は営業利益26百万円)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

資産は273,436百万円となり、前連結会計年度末に比べ219百万円増加いたしました。これは、主に有価証券及び投資有価証券の増加によるものであります。

#### (負債)

負債は116,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,169百万円増加いたしました。これは、主に製品保証引当金の増加によるものであります。

#### (純資産)

純資産は157,248百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,950百万円減少いたしました。これは、主に四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州経済低迷の長期化、新興国経済の成長鈍化、日中関係の悪化により自動車販売が低迷する懸念があり、予断を許さない状況にあります。

このような経営環境において、当社グループが更なる成長を遂げるため、引き続き、「品質」「新製品開発」「グローバル展開」「経営体質の強化」を成長戦略の柱とし、「スピード・実行・フォロー」をモットーに、一人ひとりが質を高め、技を究めることにより、グループ全体の生産性と商品力を向上させるとともに、法令遵守、社会貢献などの社会的責任を果たすことで企業価値向上に努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、平成24年7月30日決算発表時の公表値を修正し、売上高355,000百万円、営業利益19,000百万円、経常利益19,500百万円、当期純利益1,000百万円を見込んでおります。なお、為替レートにつきましては、第3四半期以降、1 U S ドル=78円、1 ユーロ=95円と想定しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想値と決算値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、税引前四半期純損失となった場合等には、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ32百万円増加し、税金等調整前四半期純損失は32百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,749	20,573
受取手形及び売掛金	54,954	43,912
電子記録債権	4,627	9,109
有価証券	40,243	45,157
商品及び製品	5,879	5,934
仕掛品	12,972	12,460
原材料及び貯蔵品	4,153	4,202
その他	12,064	14,185
貸倒引当金	△46	△41
流動資産合計	156,598	155,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,617	24,899
機械装置及び運搬具（純額）	21,427	19,907
その他（純額）	25,825	27,662
有形固定資産合計	72,870	72,469
無形固定資産		
1,601	1,601	1,480
投資その他の資産		
投資有価証券	26,705	27,892
その他	15,566	16,204
貸倒引当金	△124	△105
投資その他の資産合計	42,147	43,991
固定資産合計	116,619	117,941
資産合計	273,217	273,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,240	45,566
短期借入金	5,065	5,088
1年内返済予定の長期借入金	2,169	1,825
未払法人税等	733	689
賞与引当金	5,801	4,882
製品保証引当金	2,019	17,788
その他の引当金	268	145
その他	18,043	16,382
流動負債合計	84,340	92,367
固定負債		
長期借入金	5,956	5,979
退職給付引当金	16,752	16,858
その他の引当金	516	422
資産除去債務	67	67
その他	385	491
固定負債合計	23,678	23,820
負債合計	108,018	116,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,134	25,134
利益剰余金	130,434	125,128
自己株式	△7,049	△7,050
株主資本合計	171,375	166,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△278	△993
為替換算調整勘定	△10,015	△12,133
その他の包括利益累計額合計	△10,293	△13,126
新株予約権	777	750
少数株主持分	3,339	3,556
純資産合計	165,198	157,248
負債純資産合計	273,217	273,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	135,802	180,968
売上原価	121,772	156,188
売上総利益	14,029	24,779
販売費及び一般管理費	12,646	13,366
営業利益	1,382	11,412
営業外収益		
受取利息	286	220
受取配当金	96	91
持分法による投資利益	215	39
その他	713	263
営業外収益合計	1,312	613
営業外費用		
支払利息	142	141
為替差損	612	146
その他	29	40
営業外費用合計	784	328
経常利益	1,909	11,698
特別利益		
固定資産売却益	—	15
新株予約権戻入益	51	100
特別利益合計	51	115
特別損失		
投資有価証券評価損	29	—
製品保証引当金繰入額	—	15,829
独禁法関連損失	—	1,391
特別損失合計	29	17,220
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	1,932	△5,405
法人税等	652	△1,214
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,279	△4,191
少数株主利益	69	236
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,209	△4,428



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,279	△4,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△507	△717
為替換算調整勘定	△3,026	△3,146
持分法適用会社に対する持分相当額	52	113
その他の包括利益合計	△3,481	△3,750
四半期包括利益	△2,202	△7,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,195	△8,018
少数株主に係る四半期包括利益	△6	77

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日であった佛山東海理化、天津東海理化、無錫理昌科技については、第1四半期連結会計期間より連結決算日における仮決算による財務諸表にて連結する方法に変更しております。この変更に伴う平成24年1月1日から3月31日までの3ヶ月間の損益については、利益剰余金の増減額として調整しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	83,716	20,524	23,960	128,200	7,601	135,802	—	135,802
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,324	37	1,629	15,991	154	16,145	△16,145	—
計	98,040	20,562	25,589	144,192	7,755	151,948	△16,145	135,802
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△349	△1,008	2,698	1,339	26	1,366	16	1,382

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額16百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	109,960	31,797	31,800	173,558	7,410	180,968	—	180,968
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,230	77	2,641	21,950	111	22,061	△22,061	—
計	129,191	31,875	34,441	195,508	7,521	203,029	△22,061	180,968
セグメント利益又は セグメント損失(△)	8,312	668	2,911	11,893	△91	11,801	△389	11,412

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△389百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。